

彙報

会長 田 窪 行 則

——常任委員会——

2018年度第1回常任委員会

日 時：2018年5月13日(日) 13:00～17:00

場 所：上智大学四谷キャンパス 2号館7階言語学専攻共用室

出席者：田窪行則(会長)、江口 正、桐生和幸、久保智之、千田俊太郎、中谷健太郎、福井直樹、米田信子、渡辺 己(以上、常任委員)、有田節子(事務局長)

オブザーバー：井上 優(編集委員長)、内海敦子(大会運営委員長)、原田なをみ(広報委員長)、宮本陽一(夏期講座委員長)、金城由美子、早田清冷(以上、事務局委員)(欠席：小野尚之、菊澤律子、野田尚史 常任委員)

[報告事項]

- (1) 今期の組織・役員について
 - ・今期の組織・役員が資料によって確認された。
- (2) 今後の大会開催予定について
 - ・以下の予定が報告された。
 - 第156回大会(2018年春季大会)：2018年6月23～24日(予定)、東京大学本郷キャンパス(大会実行委員長：西村義樹氏)
 - 第157回大会(2018年秋季大会)：2018年11月17～18日(予定)、京都大学(大会実行委員長：吉田和彦氏)
 - 第158回大会(2019年春季大会)：2019年6月22～23日(予定)、一橋大学(大会実行委員長：庵功雄氏)
 - 第159回大会(2019年秋季大会)：(日程未定)、名古屋学院大学(大会実行委員長：今仁生美氏)
- (3) 2018年度科学研究費研究成果公開促進費について
 - ・研究成果公開促進費(研究成果公開発表)

が採択され、秋季大会記念シンポジウムの開催に充てることが報告された。

- (4) 各種委員会からの報告
 - ・本彙報の各委員会の項目を参照。
- (5) 言語系学会連合からの報告
 - ・2017年度は日本語学会の企画による公開シンポジウム『ことばのプロフェッショナル』(2018年1月20日(土))が開催され、144名の参加があったことが報告された。
- (6) 事務局からの報告
 1. 『言語研究』の公開入札について
 - 昨年度と同様、今年度も実施の予定である。
 2. 会費滞納者への督促について
 - 昨年度と同様、常任委員による督促を含め様々な方法で督促を行う予定である。
 3. 今年度のメールマガジンスケジュールについて
 - 今年度のメールマガジンの配信予定内容を確認した。
 4. CIPL文献リスト作成作業について
 - 顧問の梶茂樹氏をCIPL委員に任命し、文献リスト作成は前年度に引き続き平子達也氏に依頼することが報告された。
 5. 日本学術振興会育志賞について
 - 該当者がなく推薦を見送ることが報告された。
- (7) 聴覚障害を有する会員への支援について
 - ・他学会の支援状況が報告され、現在の支援を継続することが確認された。
- (8) 言語の多様性に関する啓蒙・教育プロジェクト(採否)について
 - ・3件の申請について、メール審議により1件を採択としたことが報告された。
- (9) 常任委員の今年度の役割分担について
 - ・各部門の担当者が資料によって確認された。
- (10) 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会への参加について
 - ・人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会(Gender Equality Association for Humanities and Social Sciences

(GEAHSS)の担当者(2名)の選出が報告された。

[審議事項]

- (1) 夏期講座におけるノートテイク補助について
 - ・夏期講座期間中のノートテイクに関する学会の負担上限の引き上げを検討し、承認した。
- (2) LSJ 支出ガイドラインの一部改定について
 - ・LSJ 支出ガイドラインの改定を検討し、承認した。
- (3) 2017 年度決算について
 - ・会計監査が後日行われるため、2017 年度決算書について検討を行い、会計監査後にメール審議を行うことを決定した。
- (4) 2017 年度予算について
 - ・2017 年度予算について審議し、予算案を作成した。
- (5) 80 周年記念事業について
 - ・『日本語学会 80 周年の歩み』について新たに寄稿の依頼を行うこと、『言語研究別冊 日本語学会 50 年の歩み』の電子化について検討し、承認した。
- (6) 2018 年度科学研究費補助金研究成果公開促進費(国際情報発信強化、研究成果公開発表)の応募について
 - ・今年度も応募することが確認された。申請内容については、継続審議とする。
- (7) 評議員選挙の選出方法について
 - ・評議員の地区別の定数割り当てについて検討を行っていくことを決定した。

——評議員会——

2018 年度第 1 回評議員会

日 時：2018 年 6 月 23 日(土) 10:00~12:00
 場 所：東京大学本郷キャンパス 法文 2 号館教員談話室
 出席者：田窪行則(会長)、時崎久夫、野村益寛、小野尚之、後藤 齊、那須川訓也、伊藤たかね、井上 優、遠藤喜雄、生越直樹、風間伸次郎、河内一博、菊地康人、北原

久嗣、窪菌晴夫、小林正人、滝浦真人、田中伸一、長屋尚典、西村義樹、野田尚史、長谷川信子、早津恵美子、福井 玲、松本曜、渡辺 己、江畑冬生、佐久間淳一、新田哲夫、堀江 薫、有田節子、梶 茂樹、金水 敏、佐々木冠、定延利之、沈 力、千田俊太郎、林 範彦、藤代 節、益岡隆志、宮本陽一、吉田和彦、米田信子、桐生和幸、塚本秀樹、青木博史、江口 正、久保智之(以上、評議員 47 名)

委任状：21 名

オブザーバー：上野善道(顧問)、上山あゆみ、加藤重広(以上、会計監査委員)、内海敦子(大会運営委員長)、原田なをみ(広報委員長)、金城由美子、早田清冷(以上、事務局委員)

議事に先立ち、田窪会長から挨拶が行われた。

[報告事項]

- (1) 今期の組織・役員について
 - ・今期の組織・役員が資料によって確認された。
- (2) 今後の大会開催予定について
 - ・以下の予定が報告された。
 - 第 157 回大会(2018 年秋季大会)：2018 年 11 月 17~18 日(予定)、京都大学(大会実行委員長：吉田和彦氏)
 - 第 158 回大会(2019 年春季大会)：2019 年 6 月 22~23 日(予定)、一橋大学(大会実行委員長：庵功雄氏)
 - 第 159 回大会(2019 年秋季大会)：(日程未定)、名古屋学院大学(大会実行委員長：今仁生美氏)
 - 第 160 回大会(2020 年春季大会)未定
 - 第 161 回大会(2020 年秋季大会)：(日程未定)、東北学院大学(大会実行委員長：豊島孝之氏)
 - 第 162 回大会(2021 年春季大会)：(日程未定)、神奈川大学(大会実行委員長：片岡喜代子氏)
 - 第 163 回大会(2021 年秋季大会)：(日程未定)、沖縄国際大学(大会実行委員長：西岡敏氏)

- (3) 2018年度科学研究費研究成果公開促進費について
 - ・研究成果公開促進費(国際情報発信強化)が採択され、秋季大会における80周年特別年公開シンポジウムの経費とすることが報告された。
- (4) 2019年度科学研究費補助金研究成果公開促進費の応募について
 - ・昨年度と同様、研究成果公開促進費(国際情報発信強化)および研究成果公開発表表に応募の予定であることが報告された。
- (5) 各種委員会からの報告
 - ・本彙報の各委員会の項目を参照。
- (6) 言語系学会連合からの報告
 - ・今年度は幹事学会が日本語教育学会であること、運営委員会、意見交流会が開催予定であることが報告された。
- (7) 事務局からの報告
 1. 『言語研究』の公開入札について
 - 5月末に入札および開札を行った結果、昨年度と同様、今年度も『言語研究』の印刷を中西印刷に委託することが決定した。
 2. 今年度のメールマガジンスケジュールについて
 - 今年度のメールマガジンの配信予定内容を報告した。
 3. CIPLへの代表者および文献リスト作成作業について
 - 顧問の梶茂樹氏をCIPL委員に任命し、文献リスト作成は前年度に引き続き平子達也氏に依頼することが報告された。
 4. 日本学術振興会育志賞について
 - 該当者がなく推薦を見送ることが報告された。
- (8) 聴覚障害を有する会員への支援について
 - ・現在の支援を継続することが報告された。
- (9) 言語の多様性に関する啓蒙・教育プロジェクト(採否)について
 - ・3件の申請について、1件を採択としたことが報告された。
- (10) 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会への参加について

- ・人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会(Gender Equality Association for Humanities and Social Sciences(GEAHSS))の担当者(2名)を選出したこと、会員に対し「人文社会科学系研究者の男女共同参画実態の調査」への協力を呼びかけることがそれぞれ報告された。

- (11) 選挙管理委員会からの報告
 - ・前選挙管理委員長の窪菌晴夫氏より初のオンライン選挙について、費用効果が大きく、導入に伴う問題は生じなかったことが報告された。評議員選出に関して、当選票数が地区により大きく異なる問題点が指摘された。
- (12) 80周年記念事業について
 - ・『日本語学会80周年の歩み』の準備状況、新たに『言語研究別冊 日本語学会50年の歩み』の電子化を行うことが報告された。

[審議事項]

- (1) 今期選挙管理委員の選出
 - ・選挙規則に基づき投票した結果、下記の4名が選挙管理委員として選出された。井上優(麗澤大学)、小林正人(東京大学)、早津恵美子(東京外国語大学)、松本曜(国立国語研究所)。なお辞退者が出た場合には、庵功雄(一橋大学)、北原真冬(上智大学)、田川拓海(筑波大学)の3氏をこの順で選挙管理委員とすることが決定された。
- (2) 夏期講座におけるノートテキング補助について
 - ・夏期講座期間中のノートテイクに関する学会の負担上限の引き上げを提案し、承認された。
- (3) LSJ支出ガイドラインの一部改定について
 - ・LSJ支出ガイドラインの改定を提案し、承認された。
- (4) 2017年度決算について **【別表1参照】**
 - ・2017年度決算案について説明がなされた後、久保智之会計監査委員より適正と

の報告があり、全会一致で原案通り承認された。

- (5) 2018年度予算について【別表2参照】
・2017年度予算案について検討を行った結果、全会一致で原案通り承認された。

——編集委員会——

2018年度編集委員会

日時：2018年4月14日（土）13:00～17:00

場所：大阪大学豊中キャンパス

出席者：井上 優（委員長）、青柳 宏、井川壽子、岸本秀樹、小林正人、定延利之、鍋島弘治朗、藤井洋子、由本陽子、米山聖子（以上委員）、依田恵美（オブザーバー：前期委員長補佐）

- (1) 前期委員会からの引き継ぎ事項、編集委員の業務、任期中のスケジュールについて確認するとともに、編集業務の細部について確認・検討をおこなった。
- (2) 論文賞選考部会委員、特別編集委員、特集テーマについて検討した。
- (3) 投稿・査読システム Editorial Manager の使用法について講習をおこなった。

その他

- (1) 2017年度の『言語研究』への投稿は27件（再投稿も含む）、掲載論文は8編で採択率は30%であった。
- (2) 『言語研究』第156号（2019年9月刊行予定）では「対照研究の現在」というテーマで特集論文を募集する。原稿締め切りは2018年12月31日。
- (3) 査読に関する問題点を整理し、査読者向けの「査読要項」を整備した（メール審議）。

——大会運営委員会——

2018年度第1回大会運営委員会

日時：2018年4月7日（土）11:00～16:00

場所：東京大学 本郷キャンパス

出席者：内海敦子（大会運営委員長）、田村幸誠（副委員長）、山越康裕（副委員長）、越智正男、小野 創、金 善美、沈 力、堀博文、三宅知宏（大会運営委員）

[報告事項]

- (1) 第155回大会（立命館大学）に関する財務状況を含む報告が大会運営委員長よりなされた。
- (2) 第156回大会（東京大学）に関する準備状況が大会運営委員長より報告された。

[審議事項]

- (1) 第156回大会における研究発表の採否について審議した。応募用紙の審査結果に基づき、口頭発表56件（応募104件、受理104件）、ポスター発表2件（応募4件）を採択することとした。発表辞退はなかった。
- (2) プログラムの編成を行った。口頭発表は8会場7本（移動10分）とし、各発表の振り分け、会場担当の委員ならびに司会者候補を決定した。
- (3) 大会実行委員長より提案されたシンポジウム・ワークショップ・口頭発表・ポスター発表会場、受付、書店展示、保育室、休憩室、懇親会などの各種会場の設定について検討を行い、決定した。
- (4) 応募要旨作成要項について、カラー原稿の取り扱いが議題となり、表と図（写真も含む）においてはカラーの使用が認められた。そのため、「表・図以外にカラーを使用してはならない」という文言を応募要旨作成要項に入れることが決まった。常任委員会にも諮り了承されたため、157回大会より文言を入れることになった。

——広報委員会——

1. 学会からのお知らせ（大会情報、論文賞、大会発表賞、投稿規程など）と学会関連情報（公募情報、研究会情報など）を随時更新した。
2. 広報委員会メーリングリスト（以下広報ML）の管理者の変更
従来は日本語ウェブマスターが広報MLの管理を中心的に行っていたが、各種委員・役員の変更情報および依頼が一番集まりやすいのが広報委員長であるため、今後は広報MLの管理は広報委員長が中心となっていくことにした（日本語・英語ウェブマスターは補佐役）。
3. 年度が変わったこと、また数多くの役員・委員が交替をしたことから、日本語版・英語版共に、下記の情報更新を行った（2018年4月）。

- (i) トップ>日本語学会について>会長挨拶
 - (ii) トップ>日本語学会について>学会の基本方針
 - (iii) トップ>日本語学会について>組織・役員等
 - (iv) トップ>学会の諸活動>危機言語関係プロジェクト
- なお、(iii)の更新に伴い、「トップ>日本語学会について>過去の組織・役員等」の更新も必要だが、英語版の方にリンク切れなどが見つかったため、ウェブサイト掲載情報の確認も含めて後日に実施する予定である。

検討中の事項：「トップ>日本語学会について>過去の組織・役員等」に掲載するリストはどうするか。下記(a)～(c)案を検討中。

- (a) 役員・委員の交替時期が年に(最多で)4回(4月・7月・9月・10月)あるため、その都度ウェブサイトの情報も更新する(翌年度以降には、10月更新の情報が掲載され続ける。)

- (b) 年に2回、『言語研究』掲載のリストに合わせて更新。

- (9月版と3月版、どちらに合わせるか)
- (c) その他

4. ウェブサイトへの情報掲載ガイドラインの確認を行った。

現在のガイドラインは以下の通り。

- (1) 日本語学会関連の情報
トップページ「学会からのお知らせ」と関連するページ(左側のメニューバーにリンクがあるサブページ)の両方に記載
- (2) 公募情報
トップページ「教員公募などのお知らせ」に掲載
- (3) 研究所等(他学会・研究会を除く)からの依頼
トップページ「教員公募などのお知らせ」に掲載
- (4) 他学会・研究会からの依頼
トップページではなく、「学会の諸活動」>「会関連ニュース」に掲載

——夏期講座委員会——

- ・2018年6月22日に大阪大学東京オフィスにて夏期講座委員会を開催し、夏期講座2018の準備状況を確認するとともに、夏期講座2020ならびに夏期講座2022の開催校について検討した。
- ・夏期講座2018における80周年事業・特別講演(非公開)はロナルド・ラネカー氏に決定した。
- ・夏期講座2018の参加申込者(会員)がノートテイクの補助を希望した場合、6日間開催されることを考慮し、現行の20,000円から40,000円に上限を変更することとした。

——事務局——

2017年度会計監査

日時：2018年5月28日(月)12:00～15:00
場所：日本語学会事務支局(中西印刷学会フォーラム)

出席者：久保智之、田野村忠温(以上会計監

査委員), 窪菌晴夫 (会長), 野田尚史 (事務局長), 国料尚子 (事務支局)

久保智之, 田野村忠温両委員により 2017 年度決算書と関係書類について監査が実施された。

『言語研究』153号掲載の彙報に関する訂正

『言語研究』153号の3頁に示されている評議員の欄に誤字がありました。お詫びして以下のとおり訂正します。

遠藤善雄→遠藤喜雄

【別表 1】2017 年度日本語学会決算

自 2017 年 4 月 至 2018 年 3 月

(単位：円)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
会 費	12,460,000	刊 行 費	2,262,600
雑 誌 売 上	1,019,900	発 送 費	297,962
科学研究費補助金	0	事 務 委 託 費	4,406,400
科学研究費補助金利息	0	大 会 関 係 費	2,586,710
預 金 金 利	524	評 議 員 会 費	177,876
大会関係収入	1,907,500	常 任 委 員 会 費	575,620
広 告 料	0	編 集 委 員 会 費	363,470
寄 付 金	0	大 会 運 営 委 員 会 費	473,418
雑 益	0	広 報 委 員 会 費	318,000
基金から繰入	600,000	夏 期 講 座 委 員 会 費	28,348
夏期講座準備金返納	0	学 会 賞 選 考 委 員 会 費	0
		事 務 局 費	807,240
		学 会 賞 費	167,260
		多 様 性 プ ロ ジ ェ ク ト (公 募 型) 費	0
		夏 期 講 座 経 費	0
		言 語 系 学 会 連 合 費	50,000
		C I P L 負 担 金	120,000
		C I P L 言 語 学 文 献 一 覧 編 集 補 助 費	89,700
		通 信 費	479,158
		消 耗 品 費	146,127
		雑 費	0
		名 簿 作 成 費	0
		選 挙 関 係 費	878,322
		税 理 士 顧 問 料	334,800
		法 人 税	70,000
		予 備 費	100,000
		(基 金 へ の 繰 入)	
		選 挙 関 係 積 立 金	0
		多 様 性 プ ロ ジ ェ ク ト (公 募 型) 積 立 金	500,000
		夏 期 講 座 積 立 金	500,000
収 入 合 計	15,987,924	支 出 合 計	15,733,011
前 期 繰 越 金	5,488,880	次 期 繰 越 金	5,743,793
計	21,476,804	計	21,476,804

◇収入内訳（単位：円）

会費

国内通常会員	10,708,000
国内維持会員	40,000
国内学生会員	960,000
国内団体会員	553,000
国内賛助会員	30,000
在外通常会員	161,000
在外学生会員	8,000

合 計	12,460,000
-----	------------

雑誌売上

書店販売	1,017,900
松香堂書店（取り次ぎ業務委託）	772,200
丸善雄松堂	170,100
紀伊國屋書店	75,600
事務局販売	2,000

合 計	1,019,900
-----	-----------

科学研究費補助金

0

科学研究費補助金利息

0

預金金利

524

大会関係収入

大会参加費	1,674,000
154 回大会	983,000
155 回大会	691,000
大会出店料	220,000
154 回大会 1 スペース 2 日（9 社）	90,000
2 スペース 2 日（1 社）	20,000
155 回大会 1 スペース 2 日（9 社）	90,000
2 スペース 2 日（1 社）	20,000
予稿集売上	8,000
託児関係収入	5,500

合 計	1,907,500
-----	-----------

広告料

0

寄付金

0

雑益

0

基金から繰入

選挙積立金	600,000
-------	---------

夏期講座準備金返納

0

◇支出内訳（単位：円）

刊行費

内 訳	印刷部数		各号共に 2,000 部 計 (376 p.)
	152 号 (218 p.)	153 号 (158 p.)	
印刷費	1,294,920	938,520	2,233,440
抜刷代	18,144	11,016	29,160
合 計	1,313,064	949,536	2,262,600

※組版・校正料は印刷費に含む

発送費

『言語研究』一斉発送費	152 号	141,680
	153 号	156,282
合 計		297,962

事務委託費

4,406,400
 2017 年 4 月分～2018 年 3 月分
 日本言語学会と中西印刷株式会社により交わされた事務委託内容の覚書に基づく業務の代金

大会関係費

内 訳	第 154 回	第 155 回	計
プログラム印刷費	108,000	108,000	216,000
予稿集作成費	172,800	203,850	376,650
その他印刷費 / 備品	86,011	79,459	165,470
プログラム発送費	147,510	149,776	297,286
その他発送費	12,598	18,233	30,831
大会費	852,494	304,607	1,157,101
講師謝金等	103,600	60,000	163,600
託児関係費	19,000	0	19,000
手話通訳謝礼	16,932	47,240	64,172
大会実行委員長経費補助	30,000	30,000	60,000
ノートテイキング補助	0	15,000	15,000
応募フォーム管理費	10,800	10,800	21,600
合 計	1,559,745	1,026,965	2,586,710

評議員会費

会議費（年 2 回） 177,876

常任委員会費

旅費（年2回）	529,250
会議費（年2回）	46,370

合 計	575,620
-----	---------

編集委員会費

旅費（年1回+出張校正等）	40,670
英文校閲費	18,000
J-STAGE 投稿査読システム費	64,800
アルバイト費（編集補助）	240,000

合 計	363,470
-----	---------

大会運営委員会費

旅費（年2回）	375,494
会議費（年2回）	37,924
プログラム作成謝金	60,000

合 計	473,418
-----	---------

広報委員会費

ホームページ保守管理委託費	162,000
英文校閲費	36,000
webmaster 経費補助	120,000

合 計	318,000
-----	---------

夏期講座委員会費

旅費	28,348
----	--------

学会賞選考委員会費

0

事務局費

旅費（会計監査、事務局委員出張、事務局引き継ぎ会、人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会）	198,600
会議費（会計監査）	8,640
事務局長、事務局委員活動費	600,000

合 計	807,240
-----	---------

学会賞費

論文賞副賞	50,000
発表賞副賞	40,000
旅費	77,260

合 計	167,260
-----	---------

多様性プロジェクト（公募型）費	0
夏期講座経費	0
言語系学会連合費	50,000
CIPL 負担金	120,000
CIPL 言語学文献一覧編集補助費	89,700

通信費

切手購入、通常発送費	23,446
みずほ銀行ビジネス Web 使用料	38,880
会費請求送料	132,608
会費督促送料	27,798
オンラインクレジット決済手数料	101,441
自動引落手数料	55,387
送金手数料	52,488
残高証明発行手数料	1,506
『言語研究』追加・抜刷・バックナンバー送料	41,084
その他	4,520

合 計 479,158

消耗品費

振替用紙印刷費	49,707
封筒印刷費	93,960
事務用品費	2,460

合 計 146,127

雑費

0

名簿作成費

0

選挙関係費

Web 選挙システム初期費	324,000
Web 選挙システム運用費	302,400
Web 選挙 ID・パスワード生成作業	27,000
Web 選挙 ID・パスワード通知文書印刷費	34,378
選挙案内印刷費	26,094
窓付き長 3 封筒	19,440
選挙案内送料	113,790
旅費（開票）	31,220

合 計 878,322

税理士顧問料

顧問料	194,400
年末調整・法定調書作成	32,400
決算料	108,000

合 計	334,800
-----	---------

法人税

法人市民税	50,000
法人府民税	20,000

合 計	70,000
-----	--------

予備費

アメリカ言語学会黒田フェローシップ基金寄付	100,000
-----------------------	---------

基金への繰入

多様性プロジェクト	500,000
夏期講座	500,000

合 計	1,000,000
-----	-----------

◇ 2017 年度決算 予算・実績対照表

収入 (単位：円)

科目	予算	実績	対予算差異
会費	12,000,000	12,460,000	460,000
雑誌売上	1,000,000	1,019,900	19,900
科学研究費補助金	0	0	0
科学研究費補助金利息	0	0	0
預金金利	1,000	524	△ 476
大会関係収入	2,000,000	1,907,500	△ 92,500
広告料	0	0	0
寄付金	0	0	0
雑益	0	0	0
基金から繰入	600,000	600,000	0
夏期講座準備金返納	0	0	0
収入合計	15,601,000	15,987,924	386,924
前期繰越金	5,488,880	5,488,880	0
合計	21,089,880	21,476,804	386,924

支出 (単位：円)

科目	予算	実績	対予算差異
刊行費	3,500,000	2,262,600	1,237,400
発送費	600,000	297,962	302,038
事務委託費	4,406,400	4,406,400	0
大会関係費	3,000,000	2,586,710	413,290
評議員会費	300,000	177,876	122,124
常任委員会費	900,000	575,620	324,380
編集委員会費	700,000	363,470	336,530
大会運営委員会費	800,000	473,418	326,582
広報委員会費	500,000	318,000	182,000
夏期講座委員会費	200,000	28,348	171,652
学会賞選考委員会費	500,000	0	500,000
事務局費	900,000	807,240	92,760
学会賞	200,000	167,260	32,740
多様性プロジェクト(公衆型)費	0	0	0
夏期講座経費	0	0	0
言語系学会連合費	50,000	50,000	0
C I P L 負担金	120,000	120,000	0
C I P L 言語学文献一覧編集補助費	200,000	89,700	110,300
通信費	800,000	479,158	320,842
消耗品費	350,000	146,127	203,873
雑費	0	0	0
名簿作成費	900,000	0	900,000
選挙関係費	900,000	878,322	21,678
税理士顧問料	334,800	334,800	0
法人税	70,000	70,000	0
予備費	758,680	100,000	658,680
(基金への繰入)			
選挙関係積立金	0	0	0
多様性プロジェクト(公衆型)積立金	500,000	500,000	0
夏期講座積立金	500,000	500,000	0
支出合計	21,989,880	15,733,011	6,256,869
次期繰越金	0	5,743,793	△ 5,743,793
合計	21,989,880	21,476,804	513,076

◇資産勘定

2018年3月31日（単位：円）

借 方	金 額	貸 方	金 額
事務支局		前受会費	
現金	671,184	国内通常	178,000
みずほ銀行口座	6,661,563	国内学生	43,000
郵便振替口座	887,899	前受購読料	144,900
夏期講座口座	500,000	未払金**	3,380,090
未収金*	772,200	源泉税預り金	3,063
		次期繰越	5,743,793
計	9,492,846	計	9,492,846

* 未収金は当該年度内の収入の回収が間に合わなかった場合の科目。

2017年度決算の未収金の内訳は以下の通り。

内 訳	金 額
雑誌売上（松香堂分）	772,200
合 計	772,200

** 未払金は当該年度内の支出が間に合わなかった場合の科目。

2017年度決算の未払金の内訳は以下の通り。

内 訳	金 額
『言語研究』153号印刷費	938,520
『言語研究』153号抜刷代	11,016
『言語研究』153号発送費	156,282
事務委託費1～3月	1,101,600
大会発表応募フォーム	21,600
ホームページ保守管理委託費	162,000
『言語研究』153号封筒代	29,160
選挙費（システム費、印刷費等）	733,312
税理士顧問料1～3月	48,600
税理士決算料	108,000
法人税	70,000
合 計	3,380,090

◇基金 決算

基金 損益計算書

(単位：円)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
期首特別会計（前期繰越）	10,204,594	一般会計へ支出	600,000
一般会計から繰入	1,000,000		
定期預金金利	325		
収入合計	11,204,919	支出合計	600,000
		次期繰越金	10,604,919
計	11,204,919	計	11,204,919

基金 資産勘定

2018年3月31日 (単位：円)

借 方	金 額	貸 方	金 額
みずほ銀行定期預金口座	6,800,000	積立金	10,604,919
京都銀行定期預金口座	3,804,919		
計	10,604,919	計	10,604,919

○基金内訳（目的別）

2018年3月31日 (単位：円)

記念大会積立金	2,400,578
夏期講座積立金	3,200,803
危機言語プロジェクト積立金	702,960
e-ジャーナル積立金	2,500,578
言語学普及積立金	500,000
多様性プロジェクト（公募型）積立金	1,300,000
選挙積立金	0
計	10,604,919

○基金内訳（銀行別）2018年3月31日（単位：円）

銀行名	預かり番号	名目	金額
京都銀行	003	記念大会積立金	1,000,578
みずほ銀行	038	〃	1,200,000
みずほ銀行	060	〃	200,000
みずほ銀行	051	夏期講座積立金	700,000
みずほ銀行	035	〃	600,000
みずほ銀行	065	〃	500,000
京都銀行	005	〃	1,400,803
みずほ銀行	039	危機言語プロジェクト積立金	300,000
京都銀行	001	〃	402,960
京都銀行	004	e-ジャーナル積立金	1,000,578
みずほ銀行	044	〃	500,000
みずほ銀行	037	〃	1,000,000
みずほ銀行	047	言語学普及積立金	500,000
みずほ銀行	050	多様性プロジェクト（公募型）積立金	300,000
みずほ銀行	059	〃	500,000
みずほ銀行	064	〃	500,000
		計	10,604,919

【別表2】 2018年度日本語学会予算

自 2018年4月 至 2019年3月

(単位：円)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
会 費	11,500,000	刊 行 費	3,000,000
雑 誌 売 上	900,000	発 送 費	400,000
科学研究費補助金	800,000	事 務 委 託 費	4,406,400
科学研究費補助金利息	0	大 会 関 係 費	4,300,000
預 金 金 利	500	評 議 員 会 費	300,000
大会関係収入	1,700,000	常 任 委 員 会 費	900,000
広 告 料	0	編 集 委 員 会 費	700,000
寄 付 金	0	大 会 運 営 委 員 会 費	800,000
雑 益	0	広 報 委 員 会 費	500,000
基金からの繰り入れ	2,000,000	夏 期 講 座 委 員 会 費	200,000
夏期講座準備費返納	0	学 会 賞 選 考 委 員 会 費	250,000
		事 務 局 費	900,000
		学 会 賞 費	200,000
		多 様 性 プ ロ ジ ェ ク ト (公 募 型) 費	500,000
		夏 期 講 座 経 費	1,500,000
		言 語 系 学 会 連 合 費	50,000
		C I P L 負 担 金	120,000
		CIPL 言 語 学 文 献 一 覧 編 集 補 助	200,000
		通 信 費	800,000
		消 耗 品 費	350,000
		雑 費	0
		選 挙 関 係 費	0
		税 理 士 顧 問 料	334,800
		法 人 税	70,000
		予 備 費	1,163,093
		(基 金 へ の 繰 入)	
		選 挙 関 係 積 立 金	200,000
		多 様 性 プ ロ ジ ェ ク ト (公 募 型) 積 立 金	500,000
		夏 期 講 座 積 立 金	0
		基 金 預 け 替 え	0
収 入 合 計	16,900,500	支 出 合 計	22,644,293
前 期 繰 越 金	5,743,793	収 支 差 額 (次 期 繰 越 金)	0
合 計	22,644,293	合 計	22,644,293

第 156 回大会

期日 2018 年 6 月 23 日 (土)・6 月 24 日 (日)

会場 東京大学本郷キャンパス

日本言語学会 80 周年記念シンポジウム (公開) 6 月 24 日 (日) 14:10 ~ 17:00 (伊藤謝恩ホール)

「日本のヴォイス研究の 80 年：成果と展望」

オーガナイザー：西村 義樹

コメンテーター：長屋 尚典

- | | | |
|-------|----------------------------|-------|
| (S 1) | ヴォイスの拡張～言語および言語学における～ | 鷲尾 龍一 |
| (S 2) | 中国語のヴォイス～サセル, ナラセル, ナラサレル～ | 木村 英樹 |
| (S 3) | 文法関係とヴォイス：オーストロネシア諸語の状況 | 柴谷 方良 |

口頭発表

—第 1 日 (6 月 23 日 (土)) 13:00 ~ 17:40—

◦ A 会場

- | | | | |
|-------|---------|---|---------------|
| (A 1) | 13:00 ~ | 中国語の原因型結果構文に対するフレーム・コンストラクション的アプローチ | 陳 奕廷 |
| (A 2) | 13:40 ~ | 日中コントロール現象における意味の役割 | 阿久澤弘陽
王 丹丹 |
| (A 3) | 14:20 ~ | 従属節事態先行型カラ節内のル形の生起条件と否定的ニュアンスのメカニズムについて | 小玉 安恵 |
| (A 4) | 15:00 ~ | 「こんな紳士をつかまえて何をいうか!」—動詞「つかまえる」の文法化の観察— | 氏家 啓吾 |
| (A 5) | 15:50 ~ | 日本語移動表現の直示情報と主体性：話し手自身の移動と第三者の移動の対照 | 石塚 政行 |
| (A 6) | 16:30 ~ | 名詞性を持つ複雑述語・文末形式における自動詞構造の分析 | 新山 聖也 |
| (A 7) | 17:10 ~ | 複雑述語における命題と推意—開始を表す表現について— | 日高 俊夫 |

◦ B 会場

- | | | | |
|-------|---------|---------------------------------------|---|
| (B 1) | 13:00 ~ | 上代日本語の属格「つ」と数詞についての仮説 | 平田 裕 |
| (B 2) | 13:40 ~ | 古典日本語における「ての」について | 菊池そのみ |
| (B 3) | 14:20 ~ | 九州方言における主語標示の使い分けと動作主性 | 坂井 美日 |
| (B 4) | 15:00 ~ | 係り結び現象を生む述語の機能—通方言的な視点から— | 林 由華 |
| (B 5) | 15:50 ~ | 日本語を母語とする幼児の右方転位文における主語の格標示について | 團迫 雅彦 |
| (B 6) | 16:30 ~ | 日本語児における他動詞受身文の理解—名詞句削除受身文と完全受身文を対象に— | 石川めぐみ
伊藤たかね
郷路 拓也 |
| (B 7) | 17:10 ~ | 幼児はポケモン名付けに音象徴を用いるか | 小林ゆきの
磯部 美和
桃生 朋子
岡部 玲子
川原 繁人 |

◦ C 会場

- (C 1) 13:00 ~ 閉音節における母音持続時間の短縮：鹿児島方言若年層の場合 小林 祐貴
神谷祥之介
竹安 大
- (C 2) 13:40 ~ 福岡県八女市黒木方言における子音語幹動詞のテ形派生音韻規則：韻脚を形成しない母音の削除 加藤 幹治
井手口将仁
- (C 3) 14:20 ~ 日本語の撥音の音声に関する調査—撥音に母音が後続する場合— 韓 喜善
- (C 4) 15:00 ~ 米ペンシルベニア州における後舌低母音 /ɑ, ɔ/ の合流：空白の半世紀の歴史再建を試みる 木村 公彦
- (C 5) 15:50 ~ Consonants and tones: A view from two Tibeto-Burman languages Jeremy PERKINS
Seunghun J. LEE
Shigeto KAWAHARA
Tomoko MONOU
- (C 6) 16:30 ~ An acoustic study of dental vs. alveolar contrast in Tshivenda nasals Seunghun LEE
Seth TSHITHUKHE
Michinori SUZUKI
- (C 7) 17:10 ~ 声調交替のバラディグマティックな説明：グイ語における 2 つの豊語パラダイムの相互作用音韻史 中川 裕

◦ D 会場

- (D 1) 13:00 ~ Contrast, Quantifier Scope and Embedded Implicature Satoshi TOMIOKA
- (D 2) 13:40 ~ A Modal Approach to no-clauses in Japanese Akitaka YAMADA
- (D 3) 14:20 ~ *Wa*-questions in Japanese Hitomi HIRAYAMA
- (D 4) 15:00 ~ p と q が一般規則によって形成されている条件構文についての考察 森 創摩
- (D 5) 15:50 ~ 日本語における状態述語の意味的な住み分け—程度性とスケール構造の観点から— 大島 デイヴィッド 義和
秋田 喜美
佐野真一郎
- (D 6) 16:30 ~ 日本語における慣用句の創造的使用について—形容詞の反義語を手がかりに— 鈴木あすみ
- (D 7) 17:10 ~ 「やすい」文における状態性と動作性 鈴木 基伸

◦ E 会場

- (E 1) 13:00 ~ 副詞応答文 Really? について 平田 一郎
- (E 2) 13:40 ~ 省略現象から見た日本語動名詞句の構造 内芝 慎也
- (E 3) 14:20 ~ Possessor raising in Mandarin unaccusatives MUYI YANG
- (E 4) 15:00 ~ An adjunction approach to the PSP construction in Japanese Kaori MIURA
- (E 5) 15:50 ~ 日本語の部分構造が持つ統語構造について 三山美緒子
- (E 6) 16:30 ~ 日本語の間接受動文と使役文における補文主語とラベル付け 片岡 恋惟
- (E 7) 17:10 ~ ラベルにおける Head の強弱の除去 林 慎将

◦ F 会場

- (F 1) 13:00 ~ 日本手話の「いう」の拡張：証拠性と習慣性・一般性への経路 高嶋由布子
黒田 栄光

- (F 2) 13:40 ~ 日本手話のロールシフトと談話表示理論
小藪江 聡
原田なをみ
高山智恵子
- (F 3) 14:20 ~ 誤った単語アクセントの再解釈の仕組み：脳波の時間周波数解析・事象関連電位による検討
直江 大河
木山 幸子
時本 真吾
馬 瓊
汪 敏
小泉 政利
伊東香奈江
哈 芸婕
小泉 政利
木山 幸子
- (F 4) 15:00 ~ 日本語母語話者のあいまいな関係節における解釈修正の可能性：自己ペース読み課題による日英語間の比較
呉 佩珣
宮本エジソン正
- (F 5) 15:50 ~ 「V1 て V2」が表すイベントによる再構造化の有無
平沢 慎也
- (F 6) 16:30 ~ Take hatred and turn it into love: 「余剰 take 構文」の記述的研究
- (F 7) 17:10 ~ 制御不能感と日本語被害受身—周辺事例から見えるもの—
町田 章
- G 会場
- (G 1) 13:00 ~ 八丈語三根方言の人称・指示代名詞の複数と階層性
三樹 陽介
- (G 2) 13:40 ~ アイヌ語沙流方言における親族名詞の限定所有と呼格的用法—フレーム意味論による分析—
喜多 直人
- (G 3) 14:20 ~ オリヤ語で、人称制約が見られる構文環境と、そうでない構文環境
山部 順治
- (G 4) 15:00 ~ 一時的な全体部分関係：チェコ語の所有動詞 *mit* の場合
浅岡健志朗
- (G 5) 15:50 ~ アラビア語チュニス方言の「SV」語順と主題化
熊切 拓
- (G 6) 16:30 ~ クプサビニ語の Associated Motion を表す構文：類型的観点からの分析
河内 一博
- (G 7) 17:10 ~ ランバ語 (M54) の Anterior と属性叙述
牧野 友香
- H 会場
- (H 1) 13:00 ~ トルコ語における過去接尾辞 *-DI* の「未来」解釈用法—その出現用法とモダリティー性—
鈴木 唯
- (H 2) 13:40 ~ トゥバ語の証拠性を表すとされる接辞 *-dir* の機能：話し手・聞き手の認識からの説明
江畑 冬生
- (H 3) 14:20 ~ ブヌン語南部方言のつなぎ形態素 *-na-*
野島 本泰
- (H 4) 15:00 ~ ジェスチャーが言語によって指標されるとき：アルタ語の位置保持詞 (placeholder) の用法と相互行為上の役割
木本 幸憲
- (H 5) 15:50 ~ ジンポー語における語頭鼻音の成節性
倉部 慶太
- (H 6) 16:30 ~ チワン語龍若方言の声調体系とその通時的考察
黄 海洋
- (H 7) 17:10 ~ ベトナム語の視覚動詞の試行相文法化の展開
山崎 雅人

ポスター発表

—第2日（6月24日（日））10:00～11:00—

- | | | |
|------|--|--------------|
| (P1) | 古ロシア語現在分詞の単数主格語尾成立における異分析 | 大山 祐亮 |
| (P2) | 形容詞メタファー表現における限定用法の選好：
コーバスの用例に基づく「明るい」の一考察 | 王 軒
木山 幸子 |

◇退 会

国内通常会員：146 名

在外通常会員： 3 名

国内学生会員： 49 名

国内維持会員： 1 名

199 名

◇入 会

国内通常会員：39 名

在外通常会員： 2 名

国内学生会員：46 名

在外学生会員： 3 名

90 名

2018 年度役員

【会長】

田窪行則

【特別編集委員】

(未定)

【顧問】

上野善道, 影山太郎, 梶茂樹, 国広哲弥,
窪蘭晴夫, 柴谷方良, 早田輝洋, 松本克己

【大会運営委員会】

山越康裕(委員長), 伊藤さとみ, 尾谷昌則,
小野創, 金善美, 小磯花絵, 下地理則, 中村
渉, 成田広樹, 林範彦, 堀博文, 宮地朝子

【常任委員】

江口正, 小野尚之, 菊澤律子, 桐生和幸,
久保智之, 千田俊太郎, 中谷健太郎, 野田尚史,
福井直樹, 米田信子, 渡辺己

【広報委員会】

原田なをみ(委員長), 小泉政利, 中谷健太
郎, 那須昭夫(日本語ページ webmaster),
藤本真理子, 堀博文, 松浦年男(英語ページ
webmaster)

【事務局】

有田節子(事務局長), 金城由美子, 早田清冷

【夏期講座委員会】

宮本陽一(委員長), 小野創, 田中真一, 千田
俊太郎, 本多啓, 渡辺己

【評議員(70名)】

[北海道] 奥 聡, 時崎久夫, 野村益寛 [東北]
小野尚之, 小泉政利, 後藤斉, 那須川訓也 [関
東] 庵功雄, 石井透, 伊藤たかね, 井上優,
遠藤喜雄, 大津由紀雄, 大堀壽夫, 生越直樹,
風間伸次郎, 河内一博, 菊地康人, 北原久嗣,
工藤真由美, 窪蘭晴夫, 小林正人, 滝浦真人,
田中伸一, 長屋尚典, 西村義樹, 野田尚史,
長谷川信子, 林 徹, 早津恵美子, 福井直樹,
福井玲, 松本曜, 渡辺己 [中部] 江畑冬生,
呉人恵, 斎藤衛, 佐久間淳一, 澤田治美,
杉崎鉦司, 玉岡賀津雄, 新田哲夫, 堀江薫,
町田健 [近畿] 有田節子, 影山太郎, 梶茂樹,
金水敏, 佐々木冠, 定延利之, 沈 力, 千田
俊太郎, 林範彦, 藤代節, 益岡隆志, 宮本陽一,
由本陽子, 吉田和彦, 吉田豊, 米田信子 [中
国・四国] 桐生和幸, 塚本秀樹, 辻星児,
宮崎和人, 和田学 [九州・沖縄] 青木博史,
江口正, 狩俣繁久, 久保智之, 下地理則

学会賞選考委員会

久保智之(委員長), 庵功雄, 江口正, 桐生和幸,
中谷健太郎, 福井直樹, 松本曜

【会計監査委員】

上山あゆみ, 加藤重広

【編集委員会】

井上優(委員長), 青柳宏, 井川壽子, 岸本秀樹,
小林正人, 佐々木冠, 定延利之, 鍋島弘治朗,
藤井洋子, 由本陽子, 米山聖子